

原発問題を考えよう！

危険なプルサーマルは即刻やめるべき！！その2

現在、日本で行われているプルサーマルは、ウラン燃料用に設計・建設された既存の原子炉で、ウラン燃料の一部(1/4から1/3)をMOX燃料(プルトニウム混合燃料)にして、プルトニウムを燃やして発電することです。

このMOX燃料は、原発で燃やした使用済核燃料を再処理工場で化学的に処理してプルトニウムを取り出し、劣化ウランと混ぜ合わせて作られたもので、通常のウラン燃料より高出力を得られますが、放射能が高く危険な燃料です。

プルトニウムは、世界最悪の猛毒物質と言われているくらい危険な物質で、吸い込むと1グラムで約50万人を肺がんにするとされています。

安全性より経済性優先のプルサーマル！？

プルサーマルの危険性は、

- プルトニウムがウランの20倍以上も中性子を吸収するため、原子炉の性質を変えてしまう。
- 燃え方にムラが生じ、よく燃えるところの燃料棒が加熱・破損しやすくなる。
- 原子炉の運転や停止を行う制御棒の効き具合が悪くなる。
- 事故が起きた場合、出力上昇速度がより速く、出力もより高くなる。また、従来の原子炉より猛毒の放射性物質の放出量が多くなることが予想される。



等々、従来の原発より格段に危険性が増大します。

にもかかわらず民間企業の電力会社は、既存の原子炉をMOX燃料を燃やすための改造をすることなく使用していますし、他国よりMOX燃料のプルトニウムの濃度を高くしています。明らかに安全より経済性を重視していると言えます。

こういう電力会社の姿勢が福島原発事故を大事故にしてしまったのかもしれませんが、安全は何物にも変えられるものではありません。だからこそ安全性より経済性が優先されることはあってはならないはずで。

従って、現在の行っているプルサーマルは即刻やめるべきです。

また、プルサーマルが全国各地で実施されるとプルトニウムを混ぜ合わせたMOX燃料が輸送されることになり、既存の原発で燃やす危険性とは違った意味(輸送に関しての被爆や事故・テロ等)でも危険性が増すことになります。

明日の日本のためにも原発問題を考え、行動しましょう！